

新・こどもと健康

No.104

2025.9.1

9価子宮頸がんワクチン、男性にも使用可能に(自費)

2020年12月から4価の子宮頸がんワクチン(ガーダシル®)が男性にも使用可能になっていました。2025年8月25日から9価の子宮頸がんワクチン(シルガード®9)に肛門がんの予防の適応が追加され、男性にも接種対象拡大がされました。女性で子宮頸がんなどを引き起こす可能性があるヒト・パピローマウイルスは男性でも中咽頭がん、陰茎がん、肛門がん、尖圭コンジローマ等の原因になります。非常にありふれたウイルスで、治療薬はなく、予防が重要です。今のところ自費で、当科ではガーダシル®なら1回税込16,000円ですが、シルガード®9になりますと、同28,700円と高額です。9歳以上で使用でき、通常3回、15歳未満で1回目を摂取した場合は2回という選択肢もあります。

出典:MSD HP『9価HPVワクチン「シルガード®9水性懸濁筋注シリンジ」肛門がんの予防の適応追加と男性への接種対象拡大について承認を取得(令和7年8月25日)』

男性の子宮頸がんワクチンに助成のある自治体

自治体	対象	開始時期	自治体	対象	開始時期
青森県・平川市	小6～25歳相当	令和4年8月	奈良県・天理市	小6～高1相当	令和6年4月
北海道・余市町	小6～28歳相当	令和5年4月	東京都・江東区	小6～高1相当	令和6年6月
北海道・新篠津村	小6～高1相当	令和5年4月	東京都・豊島区	小6～高1相当	令和6年6月
秋田県・にかほ市	中1～高3相当	令和5年4月	東京都・北区	小6～高1相当	令和6年7月
千葉県・いすみ市	小6～高1相当	令和5年4月	東京都・葛飾区	小6～高1相当	令和6年7月
山形県・南陽市	小6～高1相当	令和5年6月	東京都・多摩市	小6～高1相当	令和6年7月
東京都・中野区	小6～高1相当	令和5年8月	東京都・台東区	小6～高1相当	令和6年8月
東京都・千代田区	小6～高1相当	令和6年4月	東京都・墨田区	小6～高1相当	令和6年8月
東京都・新宿区	小6～高1相当	令和6年4月	東京都・江戸川区	小6～高1相当	令和6年9月
東京都・文京区	小6～高1相当	令和6年4月	東京都・世田谷区	小6～高1相当	令和6年10月
東京都・品川区	小6～高1相当	令和6年4月	東京都・調布市	小6～高1相当	令和6年10月
東京都・目黒区	小6～高1相当	令和6年4月	東京都・港区	小6～高1相当	令和6年12月
東京都・大田区	小6～高1相当	令和6年4月	茨城県・土浦市	小6～高1相当	令和7年4月
東京都・渋谷区	小6～高1相当	令和6年4月	東京都・中央区	小6～高1相当	令和7年4月
東京都・荒川区	小6～高1相当	令和6年4月	東京都・杉並区	小6～高1相当	令和7年4月
東京都・板橋区	小6～高1相当	令和6年4月	東京都・八王子市	小6～高1相当	令和7年4月
東京都・練馬区	小6～高1相当	令和6年4月	埼玉県・熊谷市	小6～高1相当	令和7年4月
東京都・足立区	小6～高1相当	令和6年4月	埼玉県・行田市	小6～高1相当	令和7年4月
東京都・武蔵野市	小6～高1相当	令和6年4月	大阪府・河内長野市	小6～高1相当	令和7年4月
東京都・小金井市	小6～高1相当	令和6年4月	兵庫県・播磨町	小6～高1相当	令和7年4月
群馬県・渋川市	小6～高1相当	令和6年4月	兵庫県・稲美町	小6～高1相当	令和7年4月
愛知県・豊橋市	小6～高1相当	令和6年4月	宮城県・宮崎市	小6～高1相当	令和7年4月

出典:各自治体HP等、TBS NEWS DIG『東京都 男性のHPVワクチン接種費用を補助する方針 市区町村負担分の2分の1(2024年1月11日)』

男性の子宮頸がんワクチンに助成のある自治体は左記の通りです(独自調べ、抜けがあるかもしれません)。4価のガーダシル®での設定です。開始時期順で、令和4年8月に青森県平川市が最初でした。東京都から各市区村に半額補助が始まり、一気に広がりました。大阪府では河内長野市が先陣を切りました。

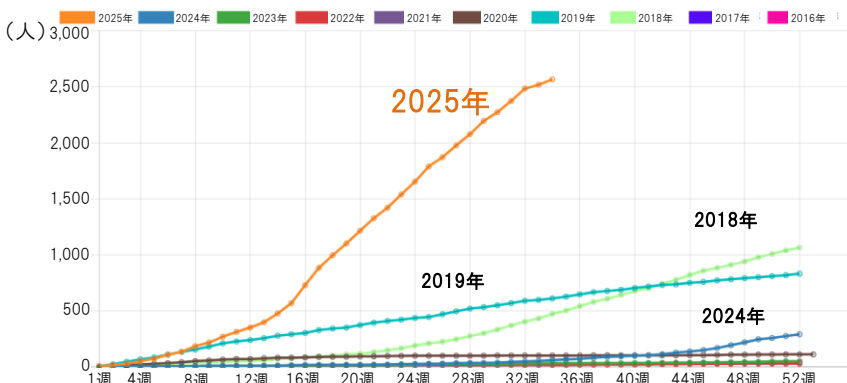
大阪府・堺市 伝染性紅斑(りんご病)まだ終息せず



大阪府と堺市の伝染性紅斑(りんご病)の定点当たりは6月16日からの週にピークを迎え、それぞれ2.89、2.59でした。8月11日の週はお盆を挟んでおり、見た目終息基準値である1.00を切りましたが、8月18日の週は1.89と1.88であり、まだ終息とは言えませんでした。

出典:大阪府感染症情報センターHP『伝染性紅斑 10年推移グラフ(2025年第34週まで)』

百日咳拡大は若干ブレーキ?



百日咳がまだ増え続けています。7月28日の週に大阪府で100例、8月4日からの週に111例、8月11日からの週に34例、8月18日からの週に48例報告され、年始からの累計は2,567例となっています。

出典:大阪府感染症情報センターHP『全数把握疾患 週報 百日咳 10年推移グラフ(2025年第34週まで)』、同『大阪府感染症発生動向週報(速報)2025年 第34週 8月18日～8月24日』

